

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2005-521781(P2005-521781A)

【公表日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2003-582243(P2003-582243)

【国際特許分類】

C 09 J 151/00 (2006.01)

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 11/08 (2006.01)

C 09 J 171/10 (2006.01)

【F I】

C 09 J 151/00

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 11/06

C 09 J 11/08

C 09 J 171/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) i) 非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルと、
i i) ペンダントスチレン系ポリマー部分と、を含む少なくとも1つのコポリマーと、
b) ポリアリーレンオキシドポリマーと、

を含有するポリマー混合物を含む、感圧接着剤組成物。

【請求項2】

(a) (i) Aが、非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルモノマーであり、前記アルコールは、約1～約14の炭素原子を有し、かつ
(i i) Bが、一般式X-(Y)_n-Z
(式中、

Xは、前記Aモノマーと共に重合可能なビニル基であり、

Yは、二価連結基であり、nは0または1であってよく、

Zは、約2,000から30,000の範囲の分子量を有し、かつ共重合条件下で本質的に非反応性である一価スチレン系ポリマー部分である)を有するモノマーである、共重合されたAおよびBモノマーと、

(b) 少なくとも1つのポリアリーレンオキシドポリマーと、
を含む感圧接着剤組成物。

【請求項3】

感圧接着剤発泡体物品の無溶媒製造方法であって、

a) i) 1) 非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルと、

2) ペンダントスチレン系ポリマー部分と、を含む少なくとも1つのコポリマー

と、

- i i) ポリアリーレンオキシドポリマーと、を含有するポリマー組成物を提供する工程と、
- b) 前記ポリマー組成物が実質的に分解することなく、そのガラス転移温度より高い温度まで前記ポリマー組成物を加熱する工程と、
- c) 前記ポリマー組成物を混合する工程と、
- d) 膨張性ポリマー・ミクロスフィアの活性化温度より低い温度まで前記ポリマー組成物を冷却した後、膨張性ポリマー・ミクロスフィアを添加する工程と、
を含む方法。